

夏季休業中もコロナ感染症に注意

校長 市川 裕二

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の防止のため、3月の臨時休業から始まり、4月には、全都道府県を対象とした「緊急事態宣言」が行われ、不要不急の外出の自粛等が実施されました。この間、学校も臨時休業が継続し、約3か月もの長期にわたって児童・生徒が学校に通えない状況となりました。その後、緊急事態宣言が解除されて分散登校による学校再開を経て、現在は、通常の登校が行えるようになりました。このように児童・生徒が、長期にわたって、学校に登校することができなくなった状況を振り返ってみると、改めて学校は、子供たちにとって安心・安全な居場所であればならないことと、新型コロナウイルス感染症にうつらない、うつさないための対策の徹底を図ることが極めて重要であるとの思いを強めました。

さて、予定より、1週間遅れて1学期が終了しました。1学期は、予定していた行事が中止になり、残念なこともありましたが、全員の児童・生徒が、コロナウイルスに感染することなく、元気に終業式を迎えられたことは、良かったと思います。終業式も放送によるものとなり、校長から、代表の児童・生徒に「がんばり賞」「学期のまとめ」を渡すことができましたが、担任の先生からお渡しいたしました。1学期の様子をまとめたもので、保護者の方と一緒に読むなどしてください。夏季休業が始まりますが、手洗いやマスクの着用を忘れず、コロナウイルス感染症に注意してお過ごしください。万が一PCR検査などを受けることになった場合は、速やかに学校にご連絡をお願いします。なお、2学期は、例年より1週間早く、8月24日（月）より始まります。

A小学部

元気いっぱい！笑顔いっぱい！

A小学部は新1年生3名を迎え、25名でのスタートとなりました。例年とは違う学校生活の始まりでしたが、1年生は学年活動、グループ活動と少しずつ大きな集団に参加する中で学校生活に慣れ、思い思いに活動を楽しんでいます。今年度の新入生を歓迎する会は、1年生が待っている教室に1学年ずつ訪問する形で行いました。上級生たちはこれまでの経験をいかして、得意なダンスを披露したり、曲に合わせて演奏したり、素敵なプレゼントを渡したりと、先輩らしく堂々と発表し、温かく1年生を迎えていました。「早く仲良くなりたい！」「よろしくね！」という気持ちのこもったとても素敵な会となりました。学年やグループでは、スポーツ祭の種目に挑戦したり、足水（時々氷入り！）で涼をとったり、七夕飾りやスイカの飾りなどの制作を通して季節を感じたりと、「見る・聞く・触れる・体験する」様々な活動を楽しみました。毎日子供たちの元気な姿と笑顔いっぱいのA小でした。



B小学部★みんなと一緒に

5月までの休業期間、6月の分散登校を経て、B小のみんなの笑顔が学校に戻ってきました。

分散登校期間の6月9日には研修会議室にて入学を祝う会を実施しました。校長先生の話をよく聞いたり、学級のみんなでの記念撮影をしたりして、1年生16名の入学を祝うことができました。

日々の学校生活では、健康を保つための約束事（手洗いやマスクの着用、適切な距離を保つなど）を分かりやすく伝え、その約束を守りながら楽しく学習活動を進められるよう、活動内容や指導体制、教材などの工夫を日々行っております。

保護者の皆様におかれましては、毎日の検温やマスクやティッシュなどのご準備へのご協力ありがとうございます。先が見えない毎日ではありますが、これからも今できること・必要なことを考えながら、2学期も充実した教育活動を進めていきます。

A 中学部

◆今年度は藍も綿花もこれまで以上に順調に育っています。感染症予防の措置を取りながらの授業ですが、その中でも生活単元学習では、学部のみんなで育てていた藍、これの生葉（なまば）を使って、羊毛（ウール）を染めてみました。

この染め方では、建ててある藍の染料とは違い、インディゴブルーにはならず、鮮やかなスカイブルーになります。葉の刈り取りから始めて、選別、ミキサーかけと染液作りから行いました。出来上がったスカイブルーの羊毛はこの後、材料の一部として授業の中で様々な形を変えて登場していきます。



A 高等部

学校が再開し、新1年生を迎えて、6月8日には入学を祝う会を行い、新しいA高等部がスタートしました。

生活単元学習で、ハーブを植え、植木鉢のカバーも作りしました。ラミネートフィルムに、ちぎったお花紙を入れたり、シールを貼ったりしてパウチしました。香りも楽しみながら、素敵なポットができました。



美術では、色とりどりの絵具をつけたオクラスタンプを色紙に押し、紫陽花を描きました。選んだ色や押した場所によって、季節感いっぱいの美しい作品ができました。



B 中『ビデオレターでよろしくね』

全学年がそろい、様々なことに気を付けながらも活気あふれる日常が戻ってきました。今年度は、14名の1年生を迎えています。6月の「入学を祝う会」では、立派に出席した新入生が輝いて見えました。

毎年、学部集会で全員が集まり、「新入生歓迎会」を行っていましたが、今年度は「ビデオレター」方式で交流しました。

内容は、まず学年毎の生徒の自己紹介。名前や好きな食べ物をメッセージボードに書いて掲げたり、クラスによっては、「次は〇〇さんです」と司会役を買って出た人もいて順調に紹介ができました。学部全体の教員を知る機会として教員自己紹介も撮影しました。更に、1年生歓迎の気持ちを込めて「ハンドベル合奏」や「和太鼓披露」も盛り込まれました。どの学年も力作のビデオレターが完成し学年ごとに見合いました。

学部全体での活動を控えている中でB 中学部の絆を深めた取り組みでした。ますますパワーアップのB 中です。



～B 高の新しい生活様式～

B 部門高等部は今年度より、「類型化の本格実施に伴う新しい生活」そして、「新型コロナウイルス感染防止のための新しい生活」と2つの新たな生活のもと、高等部生活がスタートしました。

高等部では、感染症防止対策のための6つの「する」（3密の意識、手洗い、換気など）を新しい生活様式の基本として、日々感染防止に取り組んでいます。

生徒の皆さんが、自ら意識し主体的に活動しながら新しい生活に馴染んでいく姿に、たくましさを感じています。

これからも変わり続ける新しい生活様式の中、「笑顔」や「挨拶」などの変わらない大切なものを、心から大事にしていきます！



「B 高1年生 入学を祝う会」